

子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

[特集] 保育現場で気になるコトバ考
「研修」って何だ？

[シリーズ] 子どもが育つ場所から
自然の中の「いのちの村」

[保育エッセイ] 保育の世界を豊かに生きる子どもたち
集まりを生きる子どものあり方

夏

2014

since 1901



夏休み明け、草丈が伸びた雑草園。
「ばった みつけた くさのなか」

子どもの情景

目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある
スタンドグラスの模様をデザイン化したものです。

【写真】

子どもの情景 1

【目次 まど】

研修と詩感 2

【特集】

保育現場で気になるコトバ考 2

「研修」って何だ？

保育者の研修 ～「講習」から「学び合い」へ～ 高田文子 4

今回の特集について 10

「価値付け」る研修 後藤郁子 12

農家営業を通じて学んだ視点 肴倉玉実 17

『幼児の教育』アーカイブズから 解説・草信和世 21

【シリーズ】

子どもが育つ場所から

自然の中の「いのちの村」 庄籠道子 26

【実践研究】

私の保育ノート

発表会（劇遊び — 五歳児）の取り組み 京極桃子 34

「初めて」の一年を振り返って 石川綾子 38

【保育エッセイ】

保育の世界を豊かに生きる子どもたち ②

集まりを生きる子どものあり方 榎沢良彦 42

【本棚】

古典の散歩道

古今和歌集仮名序を保育者が読みました 室田一樹 46

【子ども学探訪】

編輯顧問 倉橋惣三 とキンダーブック ⑩

イキモノを真っすぐに見ているか

— 第10輯第8編「小さい生きもの」を中心に — 浜口順子 ————— 52

【論考】

アサガオの家族になってお世話をしよう

～ 疑似子育てによる生活科の栽培単元 ～ 松村英治 ————— 59

【報告】

メディア接触と子どもの発達

安治陽子 ————— 66

【子ども学のひろば】

イベント メディア情報・読者投稿・編集後記他 ————— 71

まど

研修と詩感

新法による幼保連携型認定こども園の施行を前に「教育・保育要領案」が公表された(2014年4月現在)。そこには保育教諭という新しい専門職名が登場する。よく見れば保育教諭「等」である。「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供」の推進役として、多様な役割の人が重層的に保育・教育を担い、かつ従来の幼稚園教諭・保育士の資格者との協同も当面前提とされる。「在園時間が異なる多様な園児」たちを保育・教育するのだから、幼・保を合わせるだけでなく、「総合」的なビジョンと、未曾有の場づくりに向けて新た

な専門性が求められている。

この夏号の「研修」特集で紹介された戦前の倉橋惣三のアーカイブズに、「保姆の詩感」の重要性が説かれている。偶然と言おうか、保育園長である室田先生は「古典の散歩道」で中世の和歌集を紹介して下さった。「人の心を種とするよろづの言の葉」を、いつも全身で精いっぱい表出している子ども。保育者もそれを受けとめ、子どもや保護者に向けて「言の葉」を紡ぎ出す詩感を持っていることが肝要に違いない。しかし保育者の「詩感」とは、一体どのように研修されるものなのだろうか。(H)



編集後記

夏号の特集は「研修」。私が参加したある研修会で、隣同士にある幼稚園と保育施設の先生から、間にある空間での出会いやそれぞれの施設内でのかわりについての事例発表を伺った。

二つのことが印象に残った。一つはパワーポイントに映し出される写真のこと。もう一つは両園の空間や保育に対する共通の意識である。

写真の多くは、子どもの目の高さにレンズを合わせて撮られていた。「ああ、子どもは、こうやって人を、場所を、遊びを見ているんだな」と改めて気付かされる写真ばかりだった。そして、少し引いて場面を撮っている写真は、子どもたちや遊びを見ている教師側のまなざしが感じられ、言葉による説明も加わって自分もそこにいるかのように思いをはせることができた。

二つ目のことは、子どもの思いから保育をつくり

出していこうという共通の思いを持ち、研究会などで事例を伝え合っていること。保育の場面で出会ったことから生まれる互惠の意味などを確認し合う時間をとり、活かし合っているとのことだった。

研修内容をいかに自分の園や保育に取り入れ活かししていくか、そこに集ったメンバーと一緒に考え合えるような研修会に今後も参加したいと思う。

夏といえば、『幼児の教育』がまだ月刊誌だったころ、8月号に「緑蔭図書」という特集があった。梨木果歩著の『ぐるりのこと』を知り（境界、大きな循環、基点、群れ等の言葉に心ひかれた）、梨木ワールドに浸っていった思い出がよみがえる。

出かける研修もよし、じっくりと本の世界に浸るもよし。子どもとの生活から少し離れたところで世界を広げられる夏。今度は「古典の散歩道」で紹介された本を読んでみようと思う。(TY)

次号予告 幼児の教育 秋号 2014年9月刊行予定

新企画も好評! 充実した内容でお届けします。

特集 保育現場で気になるコトバ考3 -「子どもの最善の利益」って何だ? - 青木 悦氏ほか

報告 「食と育」 吉田隆子氏

コーナー 古典の散歩道 第3回 高橋洋代氏

※タイトル内容が変更になる場合もあります。

幼児の教育 夏号 第113巻 第3号

平成26年7月1日発行
編集発行人/浜口順子
編集担当/田中恭子
発行所/日本幼稚園協会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所/株式会社フレーベル館
電話/03-5395-6604(編集)
振替/00190-2-19640
印刷所/図書印刷株式会社
定価/本体741円+税
©日本幼稚園協会 2014 Printed in Japan
JASRAC 出1405257-401

編集委員/上坂元絵里
菊地知子
高橋陽子
宮里暎美
編集協力/フレーベル館

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●



世界が注目するイタリアの乳幼児教育

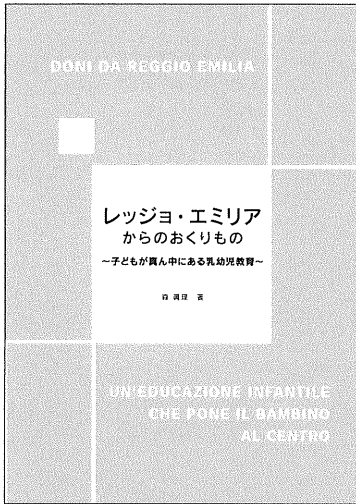
レッジョ・エミリアからのおくりもの

～子どもが真ん中にある乳幼児教育～

森 真理／著

POINT

- 1) イタリア発、世界最高水準の乳幼児教育の歴史を紐解く
- 2) 世界に広がるレッジョ・エミリア・アプローチの実践例を紹介
- 3) 特別企画：日本の研究者・実践者による座談会を掲載

イタリアにこそ生みだされた
マエストロ実践

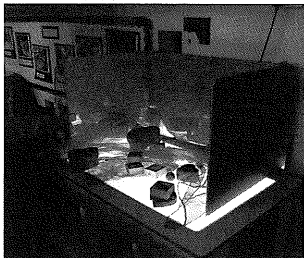
今、世界で最も注目されているレッジョ・エミリアの思想と実践のエッセンスがポイントを絞って実に要領よく解説されている。歴史づくり、街づくり、市民育てを含めてレッジョ実践を意味づけたのは本書がはじめてではないだろうか。

推薦：汐見穂幸（白梅学園大学学長）

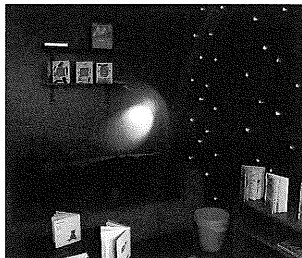
10940

定価 本体1,700円+税 26×19cm 80ページ

世界に広がるレッジョ・エミリア市の乳幼児教育



廊下もアート空間。光のテーブル
(イギリス)



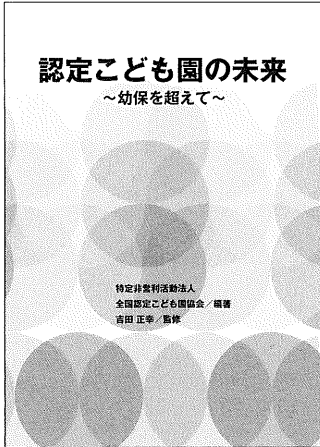
宇宙プロジェクトの空間
(スウェーデン)



ブルースクールの「青の廊下」
(アメリカ)

この1冊で“認定こども園”がわかる！

認定こども園について、制度&実践事例をくわしく、わかりやすく紹介。



10942

認定こども園の未来 ~幼保を超えて~

厳選された24園の優れた事例と、わが国を代表する研究者・有識者のコメントにより“認定こども園”の未来がわかる。

特定非営利活動法人 全国認定こども園協会 / 編著
吉田正幸 / 監修

定価 本体2,400円+税
280ページ 21×15cm

内閣府

政策統括官(共生社会政策担当) 付
参事官(少子化対策担当)

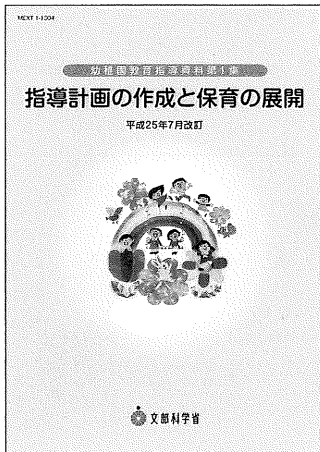
長田浩志氏

推薦

特長

- ① 全国から出色の24園の事例を紹介
- ② 保育界を代表する9名の研究者・有識者が執筆(わかりやすい制度解説/気になる海外+OECD諸国の動向)

指導計画作成の基本がわかる！ 実践事例が豊富な公式解説書



29401

幼稚園教育指導資料第1集

指導計画の作成と保育の展開 (平成25年7月改訂)

幼稚園教育要領を踏まえた指導計画の作成と保育の展開、評価について、具体的な事例とともにまとめて解説。

文部科学省 / 著

定価 本体250円+税 168ページ 30×21cm

指導計画の基本的な理解と実践に
役立つ事例を豊富に掲載

指導計画作成の基本的な考え方は始まり、教育課程・年間指導計画・月案・週案・日案・保育中のエピソードなど豊富な事例により、指導計画の理解と作成・展開に役立つ資料です。

「保育の質」を高める評価・
改善につながるポイントを解説

保育の評価・改善の重要性が高まる中で、指導計画の評価・改善の具体的な手順とポイントについても解説。研修で活用することで、保育の質の向上につながります。

子育てにお役立ち！ **130** タイトル以上

フレーベル館の電子書籍

子育て・ 保育eブックス

長年の知恵を電子書籍化！



携帯して、いつでも読める

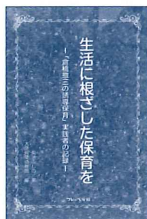
何冊買っても、かさばらない

フレーベル館では、子育て家庭と保育業界に向けて、保育図書を中心にデジタル化した、新しい電子書籍のシリーズを配信しています。ぜひ、ご活用ください！

電子書籍・最新刊はこちら

生活に根ざした保育を —「倉橋惣三の誘導保育」実践者の記録—

菊池ふじの／著 大泉双葉幼稚園／編



「倉橋惣三の誘導保育」実践者である著者が、『幼児の教育』（昭和11～42年頃）に執筆した原稿を収録。著者の「保育観」「誘導保育実践のあり方」などがわかる。

定価／本体1,500円＋税

『かかわりのなかで育ちあう』分冊版

諏訪きぬ／編著



ロングセラー『かかわりのなかで育ちあう』が年齢別に分冊化。3年間の保育記録の中で、0～5歳児に向き合う保育者の姿から、乳幼児とのかかわりや発達がわかる実践記録。写真と事例が満載。（全6冊）

定価／本体各180円＋税

どろんこ保育

塩川寿平／著



「どろんこ保育」が子どもに働きかける力と重要性、どろんこ保育のやり方などについて、40年に及ぶ保育現場での実践と研究をまとめた「どろんこ保育」の入門書&決定版。

定価／本体1,400円＋税

- ①かかわりのなかで育ちあう
特定の保育者を求める子どもたち—0歳児の発達と保育—
- ②かかわりのなかで育ちあう
自我の芽生えた子どもたち—1歳児の発達と保育—
- ③かかわりのなかで育ちあう
好きな遊びにこだわる子どもたち—2歳児の発達と保育—
- ④かかわりのなかで育ちあう
“仲よし探し”に懸命な子どもたち—3歳児の発達と保育—
- ⑤かかわりのなかで育ちあう
自己を競い合う子どもたち—4歳児の発達と保育—
- ⑥かかわりのなかで育ちあう
友だちのなかで育つ子どもたち—5歳児の発達と保育—

●取り扱い電子書店

SONY Reader™ Store（リーダーストア）、紀伊國屋書店BookWeb、BookLive!（ブックライブ）、セブンネットショッピング、GARAPAGOS STORE（ガラパゴスストア）等の電子書店にて販売



定価 本体七四一円＋税